

東京神学大学 社会連携・社会貢献に関する方針

本学は福音主義のキリスト教に基づいて神学を研究し、キリスト教の教職を養成することを通して、日本の宣教と世界教会の宣教とに奉仕することを目的としています。この理念・目的の実現のためには、学内において教育と研究に打ち込むだけでなく、教会と深く結びつき、社会と連携することが重要です。教会に仕える大学、社会に開かれた大学としての活動を進めるため、社会連携・社会貢献に関する方針を以下のとおり定めます。

1. 研究成果の還元と共同体的な神学の取り組み

研究成果を教会、キリスト教学校、伝道者に還元します。また、教会や学校での活動のただ中でこそ神学の生きた営みがなされていますから、大学と教会、学校が協働して課題を発見・共有し、聖書の新しい理解、福音のより深い把握、現代人により力強く信仰を伝える活動を、教育・研究のさまざまな機会を通じて展開します。

【具体的な活動の例】

- ・教職セミナーの開催
- ・諸教会との協働による日本伝道フォーラムの展開
- ・諸キリスト教学校との協働によるキリスト教学校伝道協議会の展開
- ・外国の協約締結校との学術交流

2. 教育・研究活動に対する理解の促進

教育・研究活動をより見えやすいものとし、教会、社会の理解を促進します。

【具体的な活動の例】

- ・教育・研究活動についての情報発信（学報、紀要『神学』、紀要『伝道と神学』）
- ・全国各地で展開する、後援会主催の講演会
- ・オープンキャンパスやキャンパス訪問受け入れによる施設公開

3. 教育そのものを通しての教会への貢献

福音主義キリスト教を神学的に深く理解し、すべての人の救いと福音による世界形成の志を持つ伝道者の育成を推進します。

【具体的な活動の例】

- ・全学祈祷会、全学修養会の実施
- ・召命と献身を問いつけるクラス担任制度

4. 学生による教会との連携、教会への貢献

学生の学びの過程自体が教会への貢献となるように、教会からのフィードバックを得ながら教育活動を行います。学生は教会に集うさまざまな人たちと交流し、また教会のさまざまな働きに積極的に参与します。

【具体的な活動の例】

- ・学生によるキリスト教会の礼拝、集会への参加
- ・学生による夏期伝道実習
- ・学生による「神学校日礼拝」における奉仕

5. 卒業生等との連携

キリスト教界、さらには社会のさまざまな場所で活躍している卒業生や、大学の教育・研究活動の理解者である幅広い人々との緊密なネットワークを形成し、相互に連携することを推進します。

【具体的な活動の例】

- ・同窓会の活動への協力
- ・卒業生が参画する活動の実施
- ・卒業生等への情報発信および交流

6. 信徒向け教育プログラムの推進

教職になることを目指していない信徒の教育機能を充実させ、神学の基礎知識をもって 教会や社会のために働く人を育成するため、多様な教育活動を積極的に推進します。

【具体的な活動の例】

- ・「神学研修志望」の信徒の積極的な受け入れ
- ・公開夜間神学講座の実施
- ・教会教育のテキストの刊行（「東神大パンフレット」）

7. 教会、キリスト教学校との連携

プロテスタント・キリスト教会（とくに日本基督教団）の活動を支援し、また各委員会に参加して、神学的奉仕をします。キリスト教学校のキリスト教活動に参加し、建学の精神の実質化に協力します。そのようにして、本学が有する資源を相互に活用し、双方の発展に貢献します。

【具体的な活動の例】

- ・教師継続教育研修会等の研修会の指導
- ・日本基督教団の信仰職制委員会、宣教研究所等への参画
- ・キリスト教学校の礼拝、修養会、授業への協力

8. 東京神学大学への経済的支援の拡大

大学の教育・研究活動や社会連携に関する働きを支えるためには、財政基盤の強化は不可欠です。諸教会、諸学校等からのさらなる理解と支援を得て、大学への経済的支援の拡大を目指します。

【具体的な活動の例】

- ・後援会献金、教会賛助金の呼びかけ
- ・奨学制度の充実支援
- ・キャンパス環境の整備支援